

秋田森林管理署	
タイトル	小白川地域集約化施業モデル団地現地研修会
実施年月日	平成25年11月21日(木)
実施場所	秋田県仙北市西木町小淵野字小白川山国有林1110林班外
参加者	局署：東北森林管理局、秋田森林管理署 10名 外部：秋田・仙北・平鹿・雄勝地域振興局農林部、大仙市農林振興課、 仙北東・仙北西・雄勝広域森林組合 25名 計 35名
<p>【取組の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民有林と国有林が連携して計画的な森林整備を進めるため「小白川地域集約化施業モデル団地」を設定し、地域における施業の集約化を進め、森林・林業の活性化に資することを目的としている。 ・国、県、地方自治体、森林組合等協定関係者が一堂に会して、施業団地の核となる森林作業道の線形等について現地で研修会を実施した。 <p>また、当モデル団地の取組について報告するとともに、効率的な作業システムについての座学の研修会も実施した。</p>	
<p>【取組の成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民有林と国有林が連携して作設する森林作業道の線形について、現地で協議しながらルートを検証し、更に路線計画のポイントや作業現地内外の情報を加味した線形とすることの理解を深めることができた。 ・施業の集約化には、民国連携による団地化と路網整備及び機械化の加速化が重要であることを参加した各関係機関が改めて再認識するとともに、参加者のスキルアップにも貢献できた。 	
<p>【出された意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共同施業団地の場合、国有林の立木販売は随意契約で出来ないのか。(原則入札となります。) ・共同施業団地の検討に当たっては、民有林の集約化につなげるため事前に国有林の計画等の見直しを情報提供してほしい。 	
<p>【今後の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当モデル団地で検討している間伐コスト等の調査を行うとともに、民国連携の効果を事業終了時に検証し、検討会を開催し今後の取組に反映させる。 ・民有林の集約化に向けた取組や今後における集約化施業プランの策定が必要である。 	

タイトル 小白川地域集約化施業モデル団地現地研修会



現地研修会（署長あいさつ）



民国連携の作業道線形の説明



民有林間伐実施箇所の説明



民有林間伐実施箇所の説明



室内での報告会（取組の説明）



局担当官による講義